

OSAKA MAFF 通信

Vol.19

2026. 7.27発行

近畿農政局大阪府拠点

Topics

写真：ピーマン

- ◆農林水産関係白書を紹介します
- ◆7月から9月は『夏の熱中症等声かけ期間』です
- ◆令和8年度第1回大阪府女性農業者交流会を開催しました
- ◆うちの郷土料理〔ハモ鍋（はもなべ）〕
- ◆『食と農をつなぐ朝井コンテスト2026』レシピ募集中

編集・発行 近畿農政局大阪府拠点
〒540-0008
大阪市中央区大手前1-5-44
大阪合同庁舎第1号館 6階
☎ 06-6943-9691

農林水産省

大阪府拠点WEBサイト



農林水産関係白書を紹介します

令和7年度の農林水産関係白書が公表されました。農林水産業のトレンド、課題や取組が紹介されていますので、是非、ご覧ください。

食料・農業・農村白書



特集 **米の安定供給に向けた対応**

トピックス

- 地域農業の将来を描く地域計画の取組
- 特別企画：昭和100年を振り返って

森林・林業白書



特集 **森林資源の循環利用の確立に向けて
～木材利用と再造林をつなぐ～**

トピックス

- 大阪・関西万博で木材利用の機運が醸成
- 山の地方創生に向けた「森業」の推進
- スマート林業の新たな展開
～技術開発と現場実装～
- 昭和100年
～先人が築いた森林を次世代へつなぐ～
- 大船渡市林野火災からの復旧と今後の消防
防災対策

水産白書



特集 **養殖業の成長産業化に向けた対応**

トピックス

- 複合的な漁業の推進や養殖業の成長産業化に向けた漁業共済の機能強化
- 昭和100年 高度経済成長期を支えた近代捕鯨
- IUU漁業撲滅に向けた取組
- 水産業の担い手の確保

食育白書



特集 **食育基本法のあゆみ**

ジュニア農林水産白書



この1冊で、食料や農林水産業の「今」が分かる！

- 自由研究に
- 食べ物・山・海の学びに
- まとめ学習に

白書情報：農林水産省



7月から9月は『夏の熱中症等声かけ期間』です

農林水産省は、近年、夏季の高温化に伴い農作業中の熱中症リスクが高まっていることを踏まえ、熱中症の危険性や基本的な予防行動の啓発を行う「夏の熱中症等対策声かけ期間」を設定し、「いのちをうばう、夏のひとり作業」をキャッチフレーズに、農業者の皆様への声かけ運動を全国で展開します。

7月から9月は
夏の熱中症等声かけ期間です！

農作業中の熱中症等による死亡者が急増しています！
このうち、約85%が7～8月に発生しており、非常に熱中症リスクが高くなっています。
熱中症事故は、周りの人がお互いに気を配り、声をかけ合うことで、防げる可能性があります！

農作業中の熱中症等による月別の死亡事故件数
(令和2年度～令和6年度の累計)

月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
死亡件数	1	3	6	9	20	136	133	11	2

全体の約85%

声かけ活動のポイント

- 家族で
作業前後だけでなく、作業中もこまめなコミュニケーションを
□ 「水分、持った？」
□ 「体調が悪くなったから、すぐに連絡して」
- 職場で
その日の体調や暑さに応じて柔軟な声かけを
□ 「顔色わるいよ、休憩しよう」
□ 「WBGT値が高いから、暑は作業を中断しよう」
- 地域全体で
顔を合わせたら、まず一声声をかけよう
□ 「今日は熱中症警戒アラートが出てるよ」
□ 「暑は我慢しやすいから、高い所も気をつけて」

キャッチフレーズは
「いのちをうばう、夏のひとり作業」

↑クリックしてチラシをダウンロード
チラシ(PDF:2.561KB)

夏の熱中症等声かけ期間

令和8年7月1日（水）



令和8年9月30日（水）



「夏の熱中症等対策声かけ期間」が始まります：農林水産省

熱中症等対策声かけ隊

同期間に声かけ活動に取り組んでいただける団体を「熱中症等対策声かけ隊」として、**8月末まで募集**しています。取組内容に応じて必要資材を提供するとともに、最終的に活動実績の報告があった団体は農水省ウェブサイトに掲載するとともに、感謝状を贈呈いたします。

詳しくはクリック↓

熱中症等声かけ隊：農林水産省



》令和8年度第1回大阪府女性農業者交流会を開催しました



【有江地方参事官（1列目右から4番目）と女性農業者の皆さん】

近畿農政局大阪府拠点では、令和8年7月9日（木曜日）に大阪府拠点会議室において、「農業を支える女性たち～立場も世代もこえて、つながる一歩～」をテーマに「令和8年度第1回大阪府女性農業者交流会」を開催しました。本交流会では、大阪府内の女性農業者の交流や地域活動の活性化を図ることを目的に、トークセッション、参加者全体でのグループトーク及びフリートークを行いました。

☆トークセッション☆

大阪府内で農業経営等に活躍されている川勝未来氏、川添友楓氏、眞榮城美保子氏の3名が「就農経緯から現在」、「失敗談と対処方法」及び「6次産業化」を議題にトークセッションを行いました。それぞれ、知らない土地へ飛び込んでいったときの課題や三者三様の経験に基づいた解決方法、6次産業化には他業種も含め地域でのパートナーシップを構築することが大切などのお話をされました。

川勝未来氏 yaoyam farm & kitchen代表。

豊能町に移住してヤーコン栽培などの農業をする傍ら、キッチンカーでとよのサイダー等を販売。

川添友楓氏 withこごせコンソーシアム運営（株）アマテラス代表。

千早赤阪村でボランティアとして桑の栽培に挑戦され、そこから農業に参画。

眞榮城美保子氏 スマイルファームパートナー代表。

石垣島で和牛繁殖に従事していた経験を活かして、畜産コンサルタントとして活躍。



【トークセッションの様子】



【川勝氏】



【川添氏】



【眞榮城氏】

☆グループトーク☆

「女性の視点で考える農産物を活かした商品づくり・ブランドづくり」をテーマに4グループに分かれて話し合いました。グループトークが進むにつれ、自然と笑い声が起こるなど和気あいあいとした雰囲気の中でトークが盛り上がっていきました。各グループの発表では、今日出会ったメンバーでマルシェに出展することやさつまいもをパウダー状にすれば離乳食や介護食などいろいろなものに活用できることなど多くのアイデアが提案されました。

☆フリートーク☆

たくさんの参加者が交流を行い、フランクな仲間づくりをしました。



【グループトークの様子】

》うちの郷土料理〔ハモ鍋（はもなべ）〕



出典：農林水産省「うちの郷土料理」
画像提供元：山中 弓子

歴史・由来・関連行事

ハモは大阪湾に古くから生息しており、近世中期のころには大阪で流通するようになった。大阪や京都では夏の祭りに欠かせない食材であり、夏の旬魚として知られるが、産卵を終えて脂がのった秋のハモもまたおいしい。びっしりと小骨があるため、皮だけ残して身に細かく切り目を入れる「骨切り」をしないと食べられない。

大阪湾に面し海の幸に恵まれた泉州地域では、ハモは古くからなじみのある食材で、ハモ鍋もよく食されてきた。ハモの頭や骨を使って出汁をとり、具材に玉ねぎとじゃがいもを入れるのが泉州流。「日本における玉ねぎ栽培発祥の地」とされる泉州地域ならではの料理といえる。泉州玉ねぎの甘みが鍋いっぱいに広がり、淡泊なハモとよく合う。

食習の機会や時季

ハモの旬は産卵前の6～8月、もしくは産卵を終えた10～11月。関東ではあまり目にしない魚だが、大阪では骨切りしたハモがスーパーマーケットで手軽に購入できるため、家庭でも気軽にハモ鍋を楽しめる。



うちの郷土料理：農林水産省

》『食と農をつなぐ朝井コンテスト2026』レシピ募集中

近畿農政局及び大阪ガスネットワーク株式会社は、学生の皆様が「食」や「地元近畿産の農産物等」に関心をもち、自ら考え作ってみることで、食に対する意識、行動の変化を促すことなどを目的に、朝ごはんレシピ（丼もの）を募集します。応募されたレシピは、近畿農政局及び大阪ガスネットワーク株式会社の食育ウェブサイトに掲載するとともに、優秀な料理に対して表彰を実施します。たくさんの学生の皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ **30分**でおいしく！簡単に！近畿の朝ごはん**丼**

募集期間 令和8年**5月29日(金)**から**10月30日(金)**17時まで

応募対象 学生2名のチーム(高校生、大学生、短大生、専門学校生など)

書面審査を行い、8チームには実演審査・表彰を行います！

実演審査 令和9年**1月16日(土)** 大阪ガス ハグミュージアム

応募方法や詳しい内容は**こちら**→



地方参事官ホットライン 電話：06-6941-9658（平日9:00～17:00）メール：hotline_kinkiosaka@maff.go.jp

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見等がございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまで連絡ください。広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

近畿農政局 大阪府拠点 地方参事官室

電話：06-6941-9658（対応時間 平日9:00～17:00）

メール：hotline_kinkiosaka@maff.go.jp

Webサイト：<https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/161215.html>

